

県内景況は引き続き後退

目次

調査要領

1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業、非製造業とも悪化	3
3. 売上	製造業は改善、非製造業は悪化	3
4. 受注	建設業は改善、製造業は横ばい	4
5. 経常利益	製造業は改善、非製造業は悪化	4
6. 在庫	製品在庫、商品在庫とも過剰感が減少	4
7. 販売価格・仕入価格	仕入価格：製造業、非製造業とも上昇幅が拡大	5
8. 資金繰・借入金残高	借入金：製造業が22四半期ぶりに増加	5
9. 雇用	製造業は不足感、非製造業は過剰感	6
10. 設備投資	製造業は3四半期ぶりに増加	6
11. 経営上の問題点	「仕入れ価格の上昇」「売上・受注の減少」が増加	7

調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業242社、回答企業112社、回答率46.3%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成19年7～9月実績及び平成19年10～12月予想。
- 調査時点** 平成19年10月中旬～下旬。

業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食料品	5	4.5	5	100.0
	繊維・縫製	3	2.7	3	100.0
	木材・木製品	4	3.6	4	100.0
	紙・紙加工品	3	2.7	3	100.0
	窯業・土石	5	4.5	5	100.0
	金属・機械	11	9.8	10	90.9
	電気機械	14	12.5	13	92.9
	印刷・その他	7	6.3	7	100.0
計		52	46.4	50	96.2
非 製 造 業	建設業	15	13.4	15	100.0
	卸売業	20	17.9	19	95.0
	小売業	15	13.4	10	66.7
	運輸業	5	4.5	5	100.0
	旅館・ホテル	5	4.5	4	80.0
計		60	53.6	53	88.3
全部門合計		112	100.0	103	92.0

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸売業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小売業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サービス業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況.....県内景況は引き続き後退

鳥取県企業動向調査によると、平成19年7～9月の「自社業況の総合判断」は、製造業では、紙・紙加工品や電気機械などが悪化したことから「悪化」に転じ、非製造業も卸売業や小売業などが悪化したことから悪化幅が拡大し、全産業のB S Iは 11.5と前期比(4.5)7.0ポイント悪化した。

製造業は業種別にみると、印刷・その他は「好転」に転じたが、紙・紙加工品や食料品、電気機械は「悪化」に転じ、繊維・縫製や金属・機械で好転幅が縮小し、全体では「悪化」に転じた。非製造業では建設業と運輸業で悪化幅が縮小したが、小売業が「悪化」に転じ、卸売業などで悪化幅が拡大したことから、全体でも悪化幅が拡大した。

先行きの景況感は、19年10～12月は、製造業、非製造業とも悪化幅が縮小、全体でも悪化幅が縮小する予想となっている。

1. 業種別の景況

製造業の景況感は、「悪化」に転じた。(+3.5 2.0)

非製造業の景況感は、前期比6.5ポイント悪化し、42四半期連続でマイナスとなった。(12.5 19.0)

2. 売上高の景況

売上高のB S Iは、製造業で増加幅が拡大したが、非製造業は減少幅が大幅に拡大したことから、全産

業では減少幅が増加した。(2.0 6.0)

3. 受注高の景況

受注高のB S Iは、製造業は同水準で推移したが、建設業は減少幅が縮小したことから、全産業では減少幅が縮小したが、42四半期連続で減少となった。(3.5 1.5)

4. 経常利益の景況

経常利益のB S Iは、製造業が増加に転じたものの、非製造業の減少幅は拡大したことから、全産業では減少幅が僅かながら拡大した。(10.5 11.5)

5. 販売価格、仕入価格の景況

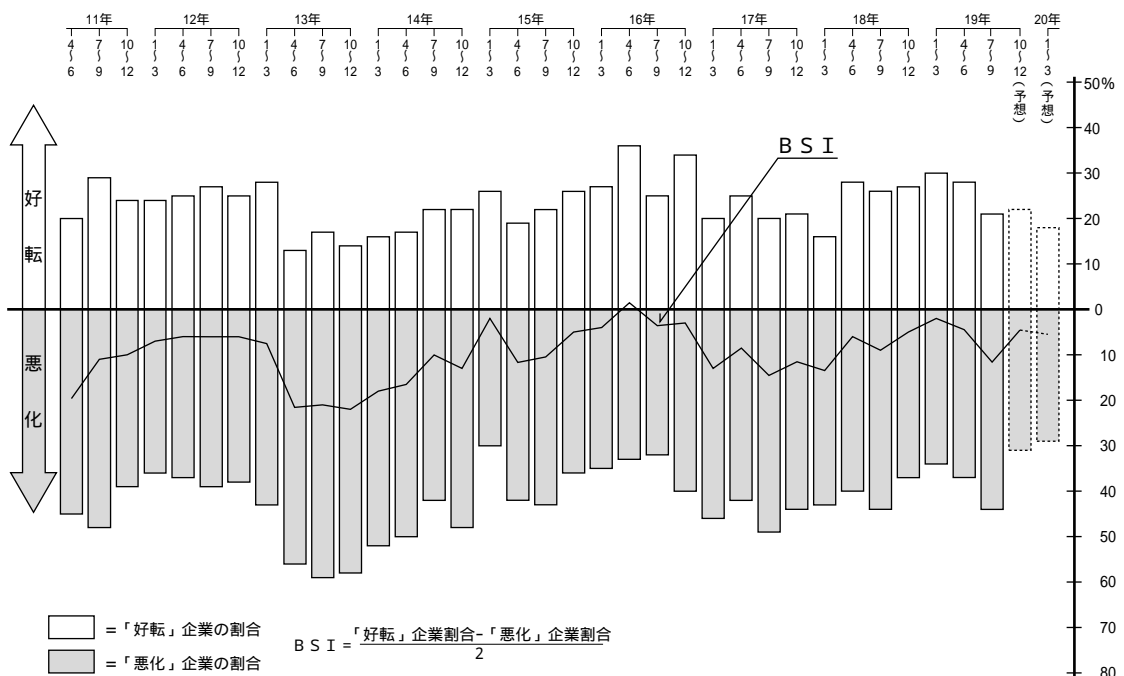
販売価格のB S Iは、製造業で低下幅が縮小し、非製造業は拡大したことから、前回調査と同水準となった。(6.0 6.0)

仕入価格のB S Iは、製造業で上昇幅が拡大し、非製造業も上昇幅が大幅に拡大したことから、全産業では上昇幅が拡大し、19四半期連続の上昇となった。(+20.5 +25.0)

6. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)についての上位項目は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の49%、「仕入価格の上昇」が40%、「過当競争」が23%、「先行き見通し難」が21%、「販売価格の低下」が20%となった。「仕入価格の上昇」が前回調査より5ポイント上昇した。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業、非製造業とも悪化

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI「(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2」は、19年7～9月は11.5で、4～6月の4.5より7.0ポイント悪化し、前回(19年7月)調査の先行き予想の5.0からも6.5ポイント悪化した。

今後の予想のBSIは、19年10～12月は4.5、20年1～3月も5.5と改善する予想である。

製造業の業況判断のBSIは19年4～6月の+3.5から7～9月は、紙・紙加工品や金属・機械などが悪化し、2.0と5.5ポイント悪化した。

先行き10～12月は木材・木製品や食料品が「好転」に転じることなどから±0.0と改善し、20年1～3月も+2.0と引き続き改善する予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、平成19年4～6月の12.5から7～9月は小売業や卸売業などで悪化したことから、19.0と6.5ポイント悪化幅が拡大した。先行き10～12月は、運輸業が「好転」に転じ、建設業で悪化幅が縮小することから、8.0と大幅に悪化幅が縮小する予想である。20年1～3月は建設業や旅館・ホテルなどで悪化幅が拡大することから、11.5と再び悪化する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断(製造業)

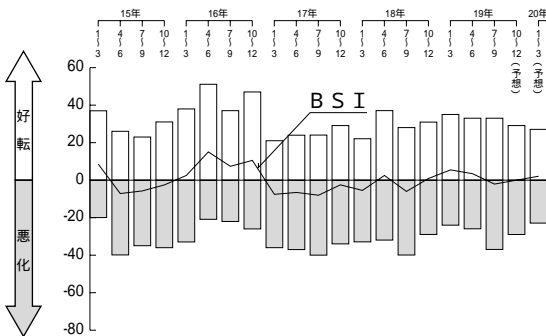
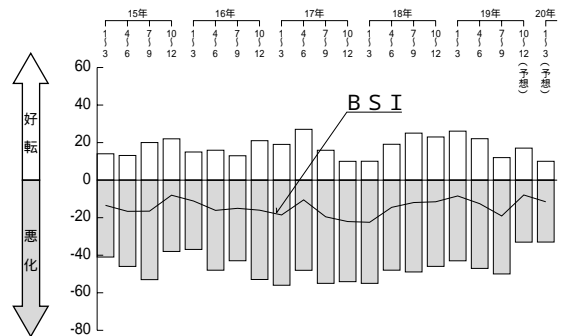


図 - 3 業況総合判断(非製造業)



3 売上.....製造業は改善、非製造業は悪化

製造業は増加幅が拡大し、非製造業は減少幅が拡大した。

製造業は繊維・縫製や金属・機械で増加幅が縮小したが、印刷・その他が増加に転じ、食料品や木材・木製品で減少幅が縮小したことから、平成19年7～9月のBSIは、4～6月の+3.5から3.0ポイント改善し+6.5と増加幅が拡大した。10～12月は金属・機械や電気機械などが悪化することなどから+3.0と増加幅が縮小する予想である。

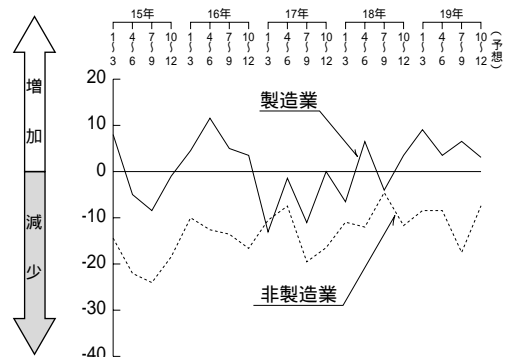
非製造業は建設業と運輸業で減少幅が縮小したが、卸売業と小売業は減少に転じ、旅館・ホテルで減少幅が拡大したことから、19年7～9月のBSIは、4～6月の8.5から17.5と大幅に悪化した。10～12月は小売業が増加に転じ、卸売業と運輸業で減少幅が縮小することから7.5と減少幅が大幅に縮小する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業(回答のあった50社の加重平均)では、19年7～9月の実績は製造業が増加したものの、非製造業は減少し、前年同期比1.5%減少した。10～12月の予想は、製造業はほぼ同水準で推移するものの、非製造業は引き続き減少することから同1.6%減少する予想となっている。

いる。

産業別にみると、製造業(27社)は19年7～9月の実績は電気機械や金属・機械などが増加したことから、同9.5%増加した。10～12月の予想はほぼ同水準の同0.1%減の予想である。非製造業(23社)は、19年7～9月の実績が同5.5%減少し、10～12月の予想も同2.3%減と減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



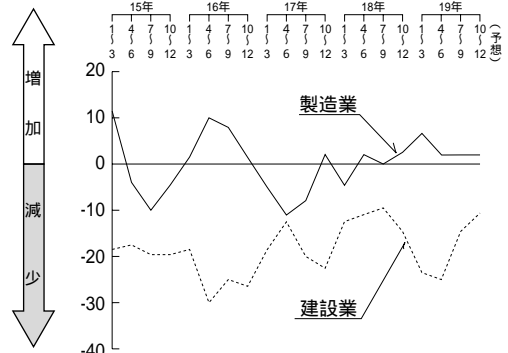
4 受注.....建設業は改善、製造業は横ばい

建設業は減少幅が縮小し製造業は横ばいだった。

製造業は食料品や電気機械などが改善したが、紙・紙加工品や金属・機械などが悪化し、19年7～9月の受注高BSIは+2.0と4～6月と同水準であった。10～12月も、食料品や木材・木製品などで増加幅が拡大するが、電気機械が減少に転じることなどから、BSIは+2.0と引き続き同水準で推移する予想である。

建設業の受注高BSIは、19年4～6月の25.0から7～9月は14.5と四半期ぶりに減少幅が縮小した。10～12月は10.5と引き続き減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



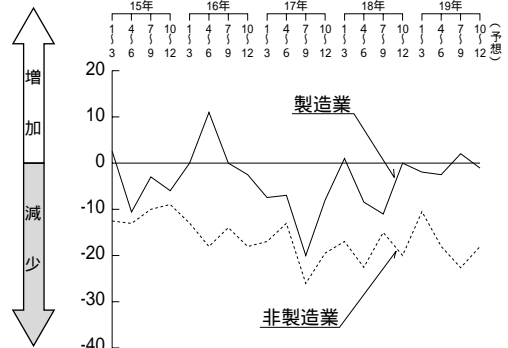
5 経常利益.....製造業は改善、非製造業は悪化

製造業は増加に転じ、非製造業は悪化幅が拡大した。

製造業は、紙・紙加工品が減少に転じ、食料品で増加幅が縮小したが、電気機械で増加幅が拡大し、印刷・その他などで減少幅が縮小したことから、BSIは19年4～6月の2.5から7～9月は+2.0と増加に転じた。10～12月は金属機械や電気機械、金属・機械などが悪化し、1.0と再び減少に転じる予想である。

非製造業は、運輸業などで減少幅が縮小したが、小売業が減少に転じたことなどから、19年7～9月のBSIは22.5と4～6月より4.5ポイント悪化した。10～12月は小売業や卸売業で減少幅が縮小することから、18.0と改善する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



6 在庫.....製品在庫、商品在庫とも過剰感が減少

製品在庫、商品在庫とも過剰感が減少した。

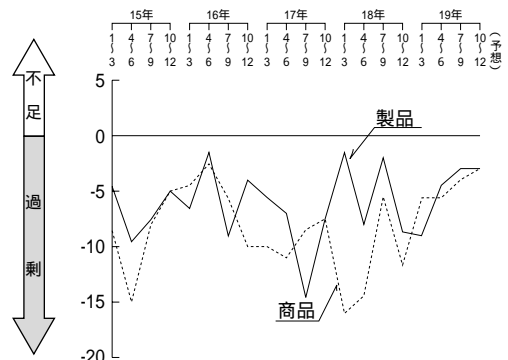
製品在庫のBSI「(不足-過剰)÷2」は金属・機械や木材・木製品で過剰感が増加したが、繊維・縫製や電気機械などで過剰感が減少したことなどから、BSIは19年4～6月の4.5から7～9月は3.0と過剰感が僅かながら減少した。10～12月は電機・機械で過剰感が増加するが、木材・木製品や窯業・土石で過剰感が減少することから、BSIは3.0と同水準で推移する予想である。

商品在庫のBSIは、卸売業で過剰感が増加したが、小売業は不足感に転じたことから、全体では19年7～9月は4～6月の5.5から1.5ポイント改善し4.0となった。10～12月も卸売業で過剰感が減少することから3.0と改善する予想となっている。

製造業の原材料在庫は、金属・機械や電気機械で過剰感が増加したことなどから、19年4～6月の1.0と同水準となった。10～12月は、木材・木製品で不足感が拡大するが、電気機械で過剰感が増加するこ

となどから、BSIは1.0と引き続き同水準で推移する予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



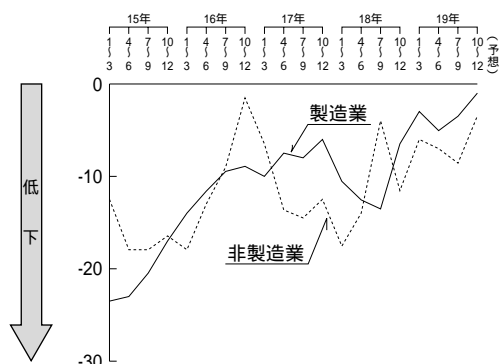
7 販売価格・仕入価格.....仕入価格：製造業、非製造業とも上昇幅が拡大

販売価格は製造業で低下幅が縮小。

製造業の販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、繊維・縫製や金属・機械で上昇幅が縮小したが、紙・紙加工品や木材・木製品は上昇に転じたことなどから、19年4～6月の5.0から7～9月は3.5と低下幅が縮小した。10～12月は食料品が上昇に転じるなどから、BSIは1.0と引き続き低下幅が縮小する予想である。

非製造業の販売価格のBSIは、小売業が上昇に転じたが、建設業や卸売業で低下幅が拡大することから、19年7～9月のBSIは8.5と低下幅が拡大した。10～12月は卸売業で低下幅が大幅に縮小することなどから、BSIは3.5と減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 8 販売価格のBSI

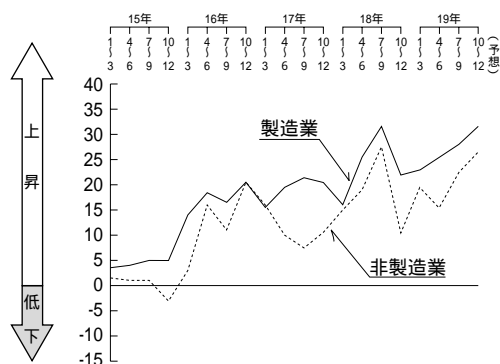


仕入価格は製造業、非製造業とも上昇幅が拡大。

製造業の原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は繊維・縫製や電気機械などで上昇幅が縮小したが、紙・紙加工品や印刷・その他などで上昇幅が拡大し、19年4～6月の+25.5から7～9月は+28.0と上昇幅が僅かながら拡大した。10～12月は金属・機械や食料品などで上昇幅が引き続き拡大することなどから、BSIは+31.5と上昇幅が拡大する予想となっている。

非製造業の仕入価格のBSIは、建設業や小売業などで上昇幅が拡大したことから、BSIは4～6月の+15.5から7～9月は+22.5と上昇幅が拡大した。10～12月は運輸業などで上昇幅が拡大することなどから、+26.5と上昇幅が引き続き拡大する予想である。

図 - 9 仕入価格のBSI



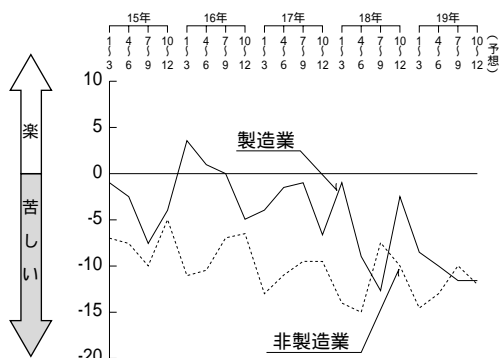
8 資金繰・借入金残高.....借入金：製造業が22四半期ぶりに増加

資金繰りは製造業で悪化した。

製造業の資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は金属・機械や印刷・その他が悪化したことなどから、19年4～6月の10.0から7～9月は11.5と悪化した。10～12月は引き続き11.5と同水準で推移する予想である。

非製造業のBSIは、7～9月は建設業や小売業が改善したことなどから10.0と4～6月の13.0から改善した。10～12月は建設業が悪化することなどから12.0と悪化する予想となっている。

図 - 10 資金繰のBSI

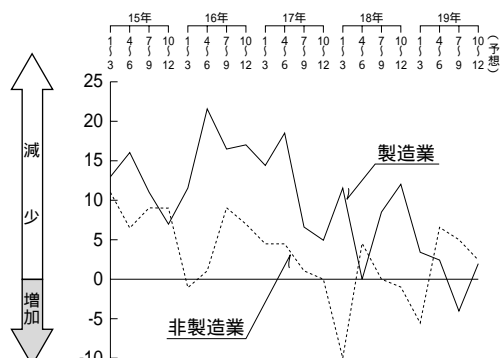


借入金残高は製造業が増加に転じる。

製造業の借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は食料品や木材・木製品が増加に転じたことなどから、19年4～6月の+2.5から7～9月は4.0と22四半期ぶりに増加に転じた。10～12月は+2.0と再び減少に転じる予想である。

非製造業の7～9月のBSIは、建設業で増加幅が減少したことなどから4～6月の+6.5から+5.0と減少幅が縮小した。10～12月は+2.5と引き続き減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 11 借入金残高のBSI



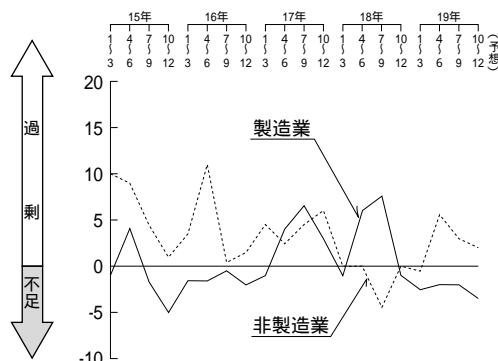
9 雇 用..... 製造業は不足感、非製造業は過剰感

常用雇用者 B S I は、製造業は不足感が減少し、非製造業は過剰感に転じた。先行きは製造業が不足感が増加し、非製造業は僅かながら過剰感が減少する予想となっている。

製造業の19年7～9月の常用雇用者 B S I 「(過剰 - 不足) ÷ 2」は、食料品が不足感に転じたが、電気機械で過剰感が増加したことなどから、4～6月の 2.0と同水準で推移した。10～12月は電気機械で過剰感が減少することなどから 3.5と不足感が増加する予想である。

非製造業の B S I は4～6月の+5.5から、7～9月は建設業や旅館・ホテルなどで過剰感が減少したことなどから+3.0と過剰感が減少した。10～12月は+2.0と過剰感が引き続き僅かながら減少する予想となっている。

図 - 12 雇用(常用雇用者)の B S I



10 設備投資..... 製造業は3四半期ぶりに増加

19年7～9月に設備投資をした企業は回答企業の36%で、前年同期実績(34%)を2ポイント上回った。10～12月の設備投資計画は30%で前年同期実績(35%)を5ポイント下回る計画となっている。

製造業の19年7～9月の設備投資の実施割合は48%と前年同期実績(43%)より5ポイント上回り、食料品や電気機械などが大幅に上昇した。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が58%、「増産・能力増強」・「合理化・省力化」がともに23%、「研究開発」・「事務所・倉庫等の建築」がともに15%だった。10～12月の実施計画は38%と前年同期実績(48%)より10ポイント下回る計画である。

非製造業の7～9月の実施割合は25%と前年同期実績(25%)と同水準であった。旅館・ホテルや建設業などが低下したが、小売業や運輸業が増加した。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が64%、「販売力の増強」が29%、「合理化・省力化」・「事務所・倉庫等の建築」がともに7%だった。10～12月の実施計画は22%と前年同期実績(21%)を1ポイント上回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績: 単位%

	19年4～6月 実	19年7～9月 績	19年10～11月 績 計	19年10～11月 画
全 産 業	25(36)	36(34)	30(35)	
食 料 品	44(33)	60(29)	60(55)	
織 維 ・ 縫 製	0(0)	0(0)	0(25)	
木 材 ・ 木 製 品	0(33)	0(25)	0(50)	
紙 ・ 紙 加 工 品	33(25)	33(50)	0(25)	
窯 業 ・ 土 石	0(20)	20(0)	0(40)	
金 属 ・ 機 械	45(70)	64(82)	45(62)	
電 気 機 械	58(46)	64(50)	64(60)	
印 刷 ・ そ の 他	22(22)	57(40)	43(29)	
製 造 業	33(40)	48(43)	38(48)	
建 設 業	7(22)	7(19)	7(13)	
卸 売 業	7(24)	11(12)	16(12)	
小 売 業	40(50)	60(46)	47(43)	
運 輸 業	25(40)	60(40)	20(25)	
旅 館 ・ ホ テ ル	0(40)	0(25)	20(20)	
非 製 造 業	17(32)	25(25)	22(21)	

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

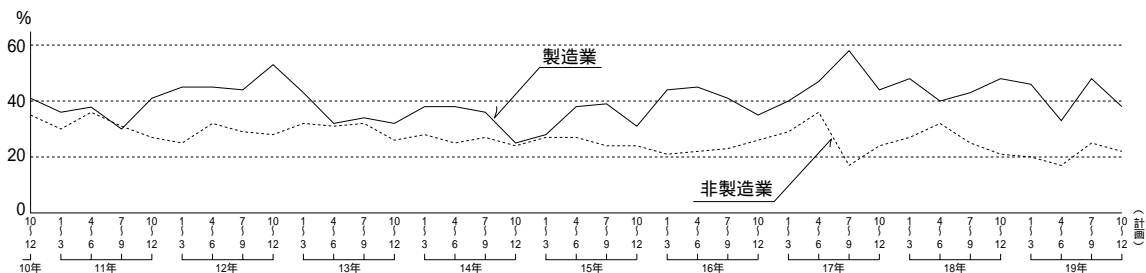
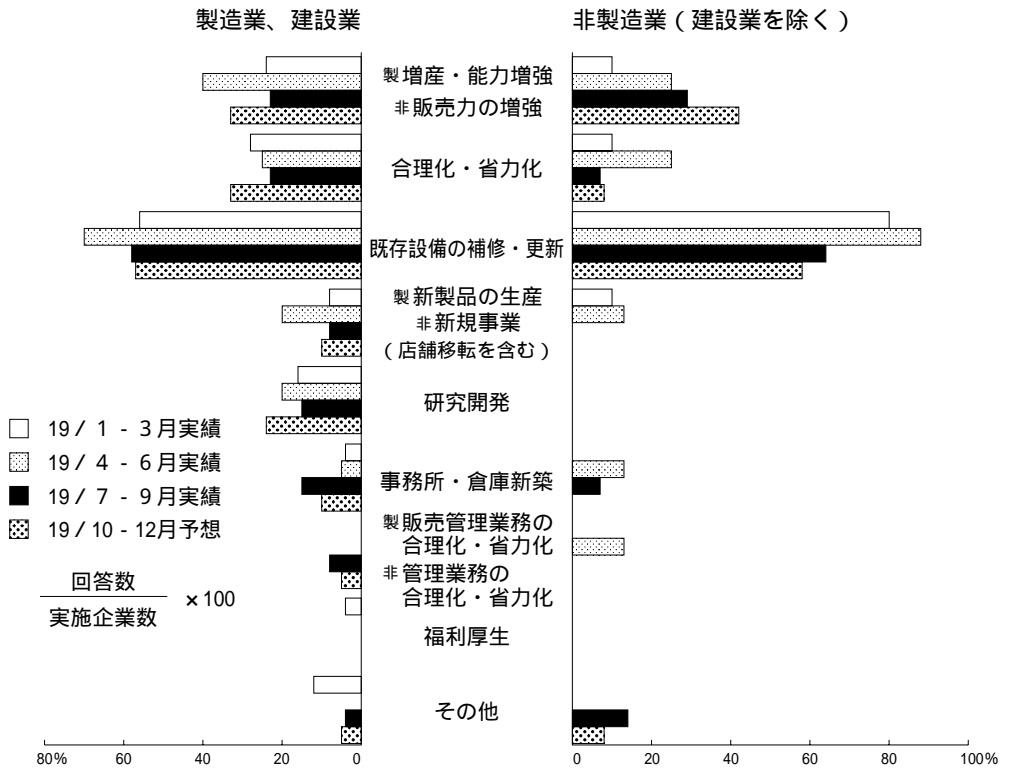


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「仕入れ価格の上昇」「売上・受注の減少」が増加

19年7～9月実績の経営上の主な問題点（2項目までの選択、回答なしを含む）は、「売上・受注の減少」49%（19年7月調査45%）、「仕入れ価格の上昇」40%（同35%）、「過当競争」23%（同22%）、「先行き見通し難」21%（同24%）が上位項目だった。

10～12月は「先行き見通し難」や「仕入れ価格の上昇」などが増加する予想となっている。

製造業の上位項目は「仕入れ価格の上昇」50%（19年7月調査46%）、「売上・受注の減少」37%（同37%）、「先行き見通し難」23%（同25%）、「諸経費の増加」21%（同18%）、「販売価格の低下」17%（同18%）の順だった。10～12月は、原油価格を始めとした原材料価格が上昇している影響から引き続き「仕入れ価格の上昇」が50%と高水準となる予想となっている。

非製造業の上位項目は「売上・受注の減少」60%（19年7月調査53%）、「仕入れ価格の上昇」32%（同24%）、「過当競争」28%（同31%）、「販売価格の低下」22%（同20%）、「先行き見通し難」18%（同24%）の順だった。10～12月は「先行き見通し難」や「仕入れ価格の上昇」などが増加する予想となっている。

全国的な景気回復のなか、鳥取県内の景気回復の遅れから、今後の景気動向に対する不透明感や原材料価格の上昇に対する不安感が窺われる結果となった。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

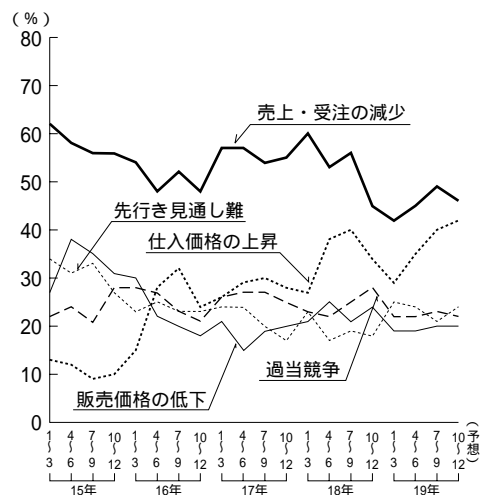


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	19年4～6月実績				19年7～9月実績				19年10～12月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		28	35	37	4.5	21	35	44	11.5	22	47	31	4.5
食料品		33	56	11	11.0	20	40	40	10.0	80	20	0	40.0
繊維・縫製		50	50	0	25.0	33	67	0	16.5	33	67	0	16.5
木材・木製品		0	25	75	37.5	25	50	25	0.0	50	25	25	12.5
紙・紙加工品		33	67	0	16.5	0	33	67	33.5	0	67	33	16.5
窯業・土石		0	40	60	30.0	20	20	60	20.0	0	60	40	20.0
金属・機械		55	36	9	23.0	45	37	18	13.5	36	28	36	0.0
電気機械		50	8	42	4.0	36	14	50	7.0	21	29	50	14.5
印刷・その他		11	67	22	5.5	43	28	29	7.0	14	86	0	7.0
製造業		33	41	26	3.5	33	30	37	2.0	29	42	29	0.0
建設業		0	33	67	33.5	13	27	60	23.5	27	20	53	13.0
卸売業		31	19	50	9.5	5	40	55	25.0	10	55	35	12.5
小売業		33	47	20	6.5	20	47	33	6.5	7	80	13	3.0
運輸業		0	50	50	25.0	0	60	40	20.0	40	40	20	10.0
旅館・ホテル		40	0	60	10.0	20	20	60	20.0	20	40	40	10.0
非製造業		22	31	47	12.5	12	38	50	19.0	17	50	33	8.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	19年4～6月実績				19年7～9月実績				19年10～12月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		34	28	38	2.0	33	22	45	6.0	25	45	30	2.5
食料品		33	23	44	5.5	40	20	40	0.0	60	20	20	20.0
繊維・縫製		50	50	0	25.0	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
木材・木製品		0	25	75	37.5	0	75	25	12.5	50	25	25	12.5
紙・紙加工品		33	67	0	16.5	0	100	0	0.0	33	67	0	16.5
窯業・土石		20	20	60	20.0	20	20	60	20.0	0	60	40	20.0
金属・機械		54	37	9	22.5	55	27	18	18.5	27	37	36	4.5
電気機械		58	9	33	12.5	57	7	36	10.5	36	28	36	0.0
印刷・その他		22	45	33	5.5	71	0	29	21.0	29	71	0	14.5
製造業		39	29	32	3.5	44	25	31	6.5	33	40	27	3.0
建設業		7	40	53	23.0	27	13	60	16.5	13	27	60	23.5
卸売業		50	12	38	6.0	20	15	65	22.5	20	55	25	2.5
小売業		33	34	33	0.0	27	26	47	10.0	20	67	13	3.5
運輸業		0	25	75	37.5	20	20	60	20.0	40	20	40	0.0
旅館・ホテル		40	0	60	10.0	20	20	60	20.0	0	60	40	20.0
非製造業		29	25	46	8.5	23	19	58	17.5	18	49	33	7.5

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	19年4～6月実績				19年7～9月実績				19年10～11月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		22	35	43	10.5	23	31	46	11.5	18	44	38	10.0
食料品		33	45	22	5.5	20	60	20	0.0	40	40	20	10.0
繊維・縫製		25	50	25	0.0	33	67	0	16.5	67	33	0	33.5
木材・木製品		25	0	75	25.0	25	50	25	0.0	50	25	25	12.5
紙・紙加工品		67	33	0	33.5	33	0	67	17.0	0	67	33	16.5
窯業・土石		0	20	80	40.0	20	20	60	20.0	0	40	60	30.0
金属・機械		46	36	18	14.0	46	36	18	14.0	27	55	18	4.5
電気機械		33	34	33	0.0	43	21	36	3.5	21	43	36	7.5
印刷・その他		12	44	44	16.0	43	14	43	0.0	14	72	14	0.0
製造業		30	35	35	2.5	37	30	33	2.0	25	48	27	1.0
建設業		0	20	80	40.0	13	14	73	30.0	13	13	74	30.5
卸売業		12	32	56	22.0	5	40	55	25.0	5	60	35	15.0
小売業		33	54	13	10.0	13	47	40	13.5	13	54	33	10.0
運輸業		0	50	50	25.0	20	40	40	10.0	20	40	40	10.0
旅館・ホテル		20	20	60	20.0	20	0	80	30.0	20	0	80	30.0
非製造業		15	34	51	18.0	12	31	57	22.5	12	40	48	18.0

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	19年4～6月実績				19年7～9月実績				19年10～11月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		13	62	25	6.0	12	64	24	6.0	14	67	19	2.5
食料品		0	78	22	11.0	0	100	0	0.0	40	60	0	20.0
繊維・縫製		25	75	0	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	75	25	12.5	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	33	67	0	16.5	33	67	0	16.5
窯業・土石		0	80	20	10.0	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
金属・機械		18	73	9	4.5	18	64	18	0.0	36	46	18	9.0
電気機械		18	37	45	13.5	7	57	36	14.5	0	64	36	18.0
印刷・その他		11	67	22	5.5	0	86	14	7.0	0	86	14	7.0
製造業		11	68	21	5.0	10	73	17	3.5	15	68	17	1.0
建設業		15	39	46	15.5	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
卸売業		27	33	40	6.5	25	20	55	15.0	20	55	25	2.5
小売業		13	74	13	0.0	20	80	0	10.0	27	73	0	13.5
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	80	20	10.0	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
非製造業		15	56	29	7.0	13	57	30	8.5	13	67	20	3.5

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	19年4～6月実績				19年7～9月実績				19年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		47	47	6	20.5	54	42	4	25.0	59	40	1	29.0
食料品		78	11	11	33.5	60	40	0	30.0	100	0	0	50.0
繊維・縫製		25	75	0	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		50	50	0	25.0	75	25	0	37.5	75	25	0	37.5
紙・紙加工品		33	67	0	16.5	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
窯業・土石		20	80	0	10.0	20	80	0	10.0	40	60	0	20.0
金属・機械		73	27	0	36.5	82	9	9	36.5	91	0	9	41.0
電気機械		50	50	0	25.0	43	57	0	21.5	50	50	0	25.0
印刷・その他		44	56	0	22.0	71	29	0	35.5	57	43	0	28.5
製造業		53	45	2	25.5	58	40	2	28.0	65	33	2	31.5
建設業		54	23	23	15.5	53	47	0	26.5	53	47	0	26.5
卸売業		63	24	13	25.0	60	25	15	22.5	55	45	0	27.5
小売業		13	80	7	3.0	33	67	0	16.5	40	60	0	20.0
運輸業		50	50	0	25.0	80	20	0	40.0	100	0	0	50.0
旅館・ホテル		20	80	0	10.0	20	80	0	10.0	40	60	0	20.0
非製造業		42	47	11	15.5	50	45	5	22.5	53	47	0	26.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

業種	問題点	14年			15年			16年			17年			18年			19年		予想					
製造業	1 仕入価格の上昇	5	6	11	12	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	48	42	35	46	50	50
	2 売上・受注の減少	64	61	62	47	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	52	36	29	37	37	35
	3 先行き見通し難	41	45	41	38	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	19	20	24	25	23	25
	4 諸経費の増加	7	3	2	10	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	11	12	18	18	21	17
	5 販売価格の低下	31	43	31	30	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	23	20	20	18	17	17
	6 過当競争	21	18	15	17	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	15	20	16	14	17	19
	7 資金繰り難	3	7	5	10	10	7	12	8	3	4	4	6	6	7	4	5	5	5	10	9	7	12	15
	8 人件費の増加	5	4	5	7	0	6	2	5	8	17	6	10	16	9	9	7	13	5	7	2	11	8	8
非製造業	1 売上・受注の減少	67	63	74	79	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	62	54	53	53	60	57
	2 仕入価格の上昇	5	7	9	14	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	31	25	24	24	32	35
	3 過当競争	35	35	28	27	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	36	37	28	31	28	25
	4 販売価格の低下	27	28	38	23	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	20	28	19	20	22	22
	5 先行き見通し難	35	33	26	29	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	18	16	26	24	18	23
	6 諸経費の増加	3	5	2	4	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	11	23	10	9	10	10
	7 資金繰り難	10	10	10	14	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	13	9	14	9	10	12
	8 金利負担の増加	3	3	2	0	4	7	6	5	7	3	1	2	2	2	2	4	2	2	4	7	7	7	5

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

お客様の事業資金をバックアップ!!

とりぎん

活 力

シリーズ

かつりよく

中小事業者向け融資

3つのラインナップから貴社に最適な商品をお選びいただけます。

短期運転資金

地域振興ファンド

活力

① 利率 年**1.5%**～

② 原則 **無担保・第三者保証人不要**

③ **保証料不要**

長期運転資金

活力Ⅱ

信用保証協会保証付

① ゆとりの**5年返済**

② **無担保・第三者保証人不要**

③ **原則翌営業日回答**

長期運転資金

活力Ⅲ

オリックス(株)保証付

① **3,000万円までの融資幅**

② **無担保・第三者保証人不要**

③ **ゆとりの5年返済**

お問合せは
とりぎんダイレクトセンター

0120-86-6915

平日(銀行休業日を除く)
9:00～19:00

TOTTORI BANK  青い鳥の銀行です。
鳥取銀行
<http://www.tottoribank.co.jp>

平成19年11月5日現在

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています


TOTTORI BANK

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220